

和牛種雄牛産肉能力直接検定成績（2007年度）

砂川隆治 運天和彦 山城存 前川巧
与古田稔

I 結 言

沖縄県畜産研究センターでは、種雄牛候補牛の産肉能力評価のため和牛種雄牛産肉能力検定（直接検定法）を実施している。2007年4月から2008年2月末までに検定を終了した種雄牛候補牛の成績について取りまとめたので報告する。

II 検定牛および検定方法

1. 検定牛

肉用牛群改良基地育成事業により生産された子牛から、産子調査により選抜された5頭の雄子牛であり、概要を表1に示した。検定牛の父と母方祖父の組み合わせは、晴美系×田尻系が1頭、気高系×晴美系が1頭、気高系×田尻系が1頭、気高系×糸桜系が1頭、気高系×気高系が1頭であった。

2. 検定方法

全国和牛登録協会の和牛種雄牛産肉能力検定（直接検定法）¹⁾に基づき実施した。直接検定法とは、種雄牛候補となる7～8カ月齢の雄子牛を単房式牛房にて112日間飼養し、粗飼料として乾草を飽食給与、濃厚飼料は朝夕の2回給与で、1日の給与量は適正な育成管理となる範囲でおおむね体重比1.0～1.3%を目安としている。

1) 調査項目

増体量、飼料要求率および余剰飼料摂取量等を調査した。なお余剰飼料摂取量とは、同じ代謝体重、同じ増体量のもとで、摂取する飼料の量を減らすことを目的として作出された形質であり、無駄な摂取量を数値化したものであるため、負の値であれば必要な摂取量よりも摂取量が少なく効率がよいという評価、正の値であれば、必要な摂取量よりも摂取量が多く効率が悪いという評価となる²⁾。

表1 検定牛の概要

No.	名 号	生年月日	血 統				生産地
			父	母	母方祖父	母方曾祖父	
1	光 太	'06. 6. 1	晴 姫	れ い	安 平	隆 桜	宮古島市
2	姫 海 邦	'06. 9. 3	勝 海 邦	ひとみの1	晴 姫	安福165の9	今帰仁村
3	勝 乃 邦	'06.11.13	平 茂 勝	かつこの1	忠 福	宝 勝	今帰仁村
4	宗 英	'07. 2.23	勝 海 邦	むねひで	北国7の8	第20平茂	伊江村
5	茂 海 邦	'07. 3.21	勝 海 邦	ひとみの2	平 茂 勝	安福165の9	今帰仁村

III 検 定 成 績

検定成績は、表2に体重およびDG、表3に飼料要求率、余剰飼料摂取量および体型評点を示した。各調査項目の平均値は、開始時日齢244日、開始時体重250.0kg、終了時体重401.4kg、180日補正体重194.6kg、365日補正体重411.9kg、1日当たり増体量（DG）1.35kg、粗飼料摂取率55%、各飼料要求率は濃厚飼料2.74、粗飼料3.42、可消化粗蛋白質（DCP）0.67、可消化養分総量（TDN）3.67である。

DGについては、勝乃邦の1.55kg、光太の1.46kgが優れている。

365日補正体重については、勝乃邦の440.9kgが最も優れており、茂海邦の378.9kgが最も劣っている。飼料要求率（TDN）については、茂海邦の3.45、勝乃邦の3.50が優れ、姫海邦と光太の3.92が最も劣っている。

余剰飼料摂取量（TDN）については宗英の-65が最も優れ、光太の-2が最も劣っている。

5頭の平均値を2006年度の全国平均値³⁾と比較するとDGで0.19kg優れている。

表2 検定成績(体重およびDG)

No.	名号	開始時 日齢	体 重 (kg)				終了時		備考
			開始時	終了時	180日補正	365日補正	DG (kg)	体高 (cm)	
1	光 太	245	230.0	394.0	176.9	405.7	1.46	126.0	○
2	姫 海 邦	247	270.0	409.0	206.8	416.4	1.24	122.8	
3	勝 乃 邦	255	270.0	444.0	213.0	440.9	1.55	122.0	○
4	宗 英	251	270.0	415.0	202.1	417.6	1.27	124.6	
5	茂 海 邦	225	210.0	345.0	174.0	378.9	1.21	121.0	
	平均 値	244	250.0	401.4	194.6	411.9	1.35	123.3	
	標準偏差	11	28.3	36.4	17.9	22.5	0.15	2.0	
	全国平均値	—	—	—	—	—	1.16		

注1) 全国平均値は2006年度（262頭）の平均値。

2) ○は2008年度和牛種雄牛現場後代検定の実施牛として選抜。

表3 検定成績(飼料要求率,余剰飼料摂取量および体型評点)

No.	名号	粗飼料 摂取率 (%)	飼 料 要 求 率 (%)				余 剰 飼 料 摂 取 量			体型 評点	備考
			濃厚飼料	粗飼料	DCP	TDN	濃厚飼料	粗飼料	TDN		
1	光 太	50	3.23	3.23	0.57	3.92	-42	-75	-2	83.6	○
2	姫 海 邦	50	3.22	3.24	0.76	3.92	-31	-53	-30	83.2	
3	勝 乃 邦	57	2.55	3.42	0.67	3.50	-40	4	-21	82.0	○
4	宗 英	66	2.10	4.12	0.67	3.58	-124	-25	-65	82.0	
5	茂 海 邦	55	2.59	3.19	0.66	3.45	-68	-65	-48	81.0	
	平均 値	55	2.74	3.42	0.67	3.67	-61	-42	-33	82.4	
	標準偏差	6	0.49	0.39	0.07	0.23	38	32	24	1.1	
	全国平均値	—	—	—	—	—	-13.7	6.3	-3.1	—	

注1) 全国平均値は2006年度（262頭）の平均値。

2) ○は2008年度和牛種雄牛現場後代検定の実施牛として選抜。

これらの検定牛のうち、平成19年度第3回沖縄県肉用牛改良協議会専門委員会において、2008年度現場後代検定実施牛（試験種付けを行う）として光太、勝乃邦を選抜した。

IV 引用文献

- 1) 社団法人全国和牛登録協会(2005)和牛登録事務必携, 57-65
- 2) 社団法人全国和牛登録協会(2007)平成18年度和牛産肉能力検定委員会, 資料2, 1
- 3) 社団法人全国和牛登録協会(2006)和牛種雄牛産肉能力検定成績, 4